（For School teacher）

Form 5

平成 23 年 2月 8 日

サイエンス・ダイアログ事業　実施報告書

1. 参加機関（学校名）・担当者: 岐阜県立恵那高等学校 ・ 桑原華栄

2. 参加研究者: Akhmad Sabarudin 博士

3. 実施日時: 平成 22年 12月 8日 （ 水 ） 13 :45 ～ 15 : 25

4. 参加生徒: 2 年生 80 人、 ___年生 ___人、 ___年生 ___人（合計 ___人）
備考:（例:理数科の生徒） 理数科の生徒

5. 講演題目:（英文） Flow-based Method in Analytical Bioanalytical Chemistry

（和文） フロー方式による金属と非金属分析

6. 講演概要: 化学分析における測定法についての概要と、アハマド博士の研究されている測定装置をいかに軽量化し、測定スピードもアップさせるかについてご講演頂いた。最後に、実験の動画を見ながら、なぜその現象が起きるのかについて生徒に問いかけ、生徒はその答えを予想して発表した。ちょうど本校でも中間テストにでた問題と関係しており興味をもって聞くことができた。

7. 使用言語: 英語

8. 講演形式:
（1）講演時間 60 分 質疑応答時間 30 分

（2）講演方法（例:プロジェクター使用による講演、プレ実験など）
プロジェクター使用による講演

（3）通訳 （例:受入研究者によるサポート、外国人研究者本人による日本語説明）
通訳の形が同伴されると思っていたが、博士ご本人が日本語を話せるということで一人でいらっしゃった。しかし、専門的な研究を日本語で説明されることはほとんどなかったので、生徒には理解が難しかった。事前にもっと密に連絡をとるべきだった。

協力者 職・氏名

（4）事前学習時使用教材（事前学習を行った場合のみ）
9. 支給経費: □交通費 □宿泊費 □謝金
10. その他特筆すべき事項: